

ブリリアントエージ^{STB}

変額個人年金保険（災害死亡30%型） [Brilliant Age STB]

特別勘定運用レポート (組入投資信託の運用状況)

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式 (A)	ダイワ・トップックスインデックスファンドVA2	大和アセットマネジメント株式会社	1
外国株式 (A)	外国株式インデックス・オープンVA1	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	2
外国債券 (A)	外国債券インデックス・オープンVA1		3
バランス (A)	マイセレクション50VA1		4
マネー (A)	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	7

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって

当資料をご覧ください際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のプリリアントエージ STB〔変額個人年金保険（災害死亡 30%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況]に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況]は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認ください事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.30%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)
日本株式 (A)	0.682%程度
外国株式 (A)	0.803%程度
外国債券 (A)	0.693%程度

特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)
バランス (A)	0.66%程度
マネー (A)	0.00935%~0.55%程度*

* 前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて毎月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。



ご注意

- 資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項目	費用	時期
積立金 移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料 1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円/回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき 貸付金額に対して年率 2.30%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき 経過年数に応じて、 払込保険料総額に対して 1~8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき 経過年数に応じて、 一部解約請求金額に対して 1~8%	

* 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

* 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

<解約控除率>

契約日(増額日)からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	8%	8%	7%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。(遺族年金支払特約による年金も含まれます。)

項目	費用	時期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

* 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

基準日：2024年3月29日 適格機関投資家専用・ダイワ・トピックスインデックスファンドVA2 Monthly Fund Report
 回数コード：2026

特色	概要
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に連動した投資成果をめざします。 1. 東証上場株式のうち200銘柄以上に、原則として、分散投資を行います。 2. 株式の組入比率は、高位を保ちます。 3. ファミリーファンド方式により、運用を行います。	当初設定日 2002年9月24日 償還日 無期限 決算日 9月19日 受託銀行 三井住友信託銀行
投資制限 株式:制限なし、外貨建資産:不可	運用管理費用 純資産総額に対して年率0.682%

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

＜基準価額・純資産の推移＞

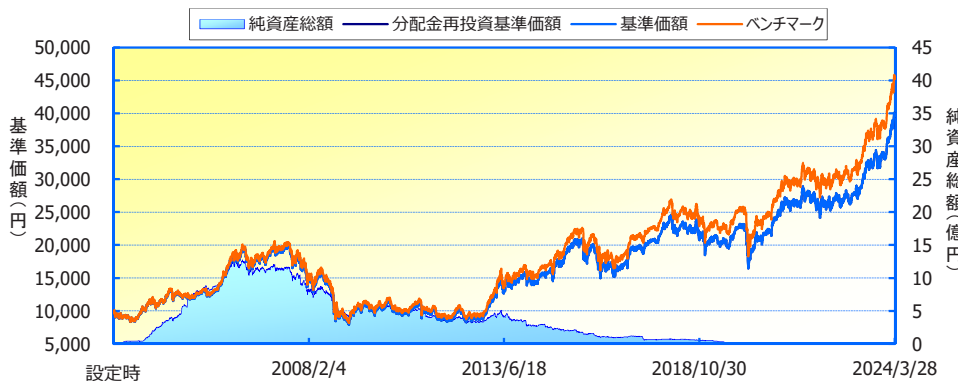
2024年3月29日時点

基準価額	39,839円
純資産総額	0.01億円

期間別騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	+4.4%	+4.4%
3カ月間	+17.9%	+18.1%
6カ月間	+20.1%	+20.5%
1年間	+40.3%	+41.3%
3年間	+49.4%	+52.5%
5年間	+89.6%	+96.2%
年初来	+17.9%	+18.1%
設定来	+298.4%	+355.5%

当初設定日(2002年9月24日)～2024年3月29日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

※当ファンドは東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年.月)	分配金
第1～15期 合計:	0円
第16期 (18.09)	0円
第17期 (19.09)	0円
第18期 (20.09)	0円
第19期 (21.09)	0円
第20期 (22.09)	0円
第21期 (23.09)	0円
分配金合計額	設定来:0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計額を表示していません。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			国内株式 業種別構成	
資産	銘柄数	比率	東証33業種名	比率
国内株式	2125	97.4%	電気機器	16.9%
国内株式先物	1	2.6%	輸送用機器	9.3%
不動産投資信託等	---	---	卸売業	7.2%
コール・ローン、その他	---	2.6%	銀行業	7.2%
合計	2126	---	情報・通信業	7.1%
国内株式 市場・上場別構成	合計97.4%		化学	5.6%
東証プライム市場	96.9%		機械	5.5%
東証スタンダード市場	0.4%		サービス業	4.3%
東証グロース市場	0.0%		医薬品	4.1%
地方市場・その他	---		その他	30.2%
組入上位10銘柄			合計21.5%	

銘柄名	東証33業種名	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	5.2%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.3%
ソニーグループ	電気機器	2.3%
東京エレクトロン	電気機器	2.1%
三菱商事	卸売業	1.8%
キーエンス	電気機器	1.7%
日立	電気機器	1.7%
三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.6%
信越化学	化学	1.5%
三井物産	卸売業	1.4%

ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式により、トピックス・インデックス・マザーファンドを通して運用を行っております。マザーファンドでは、ベンチマークに連動するように、数理モデルによる最適化の手法を用いてポートフォリオを構築しております。また、一部TOPIX先物も利用して、株式の実質組入比率を100%程度に維持しています。

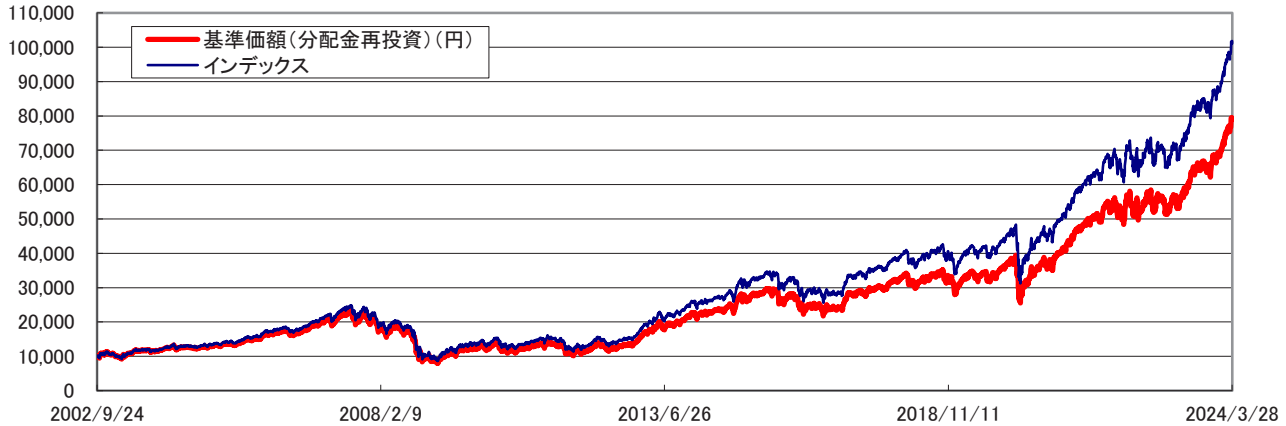
■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

外国株式インデックス・オープンVA1(適格機関投資家専用)

2024年3月29日現在



① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
 ※インデックスは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

② 当月末基準価額

基準価額	79,240 円
既払分配金(税引前)	60 円
純資産総額	127 百万円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、
あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 資産構成比(対純資産、%)

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合計	100.00

【マザーファンドの資産構成比(対純資産、%)】

株式等	97.62	純資産
株式先物取引	2.33	729,793 百万円
短期金融資産等	0.05	銘柄数: 1,248

※株式等の比率、銘柄数にはREIT等を含みます。

④ 騰落率

(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	4.10	15.63	22.40	42.56	74.61	694.59
インデックス	4.24	15.87	23.10	44.19	80.28	917.87
差	-0.14	-0.24	-0.70	-1.63	-5.67	-223.29

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

⑤ 通貨別組入比率(マザーファンド)(円換算ベース)

(単位:%)

	通貨	比率
1	米国ドル	75.76
2	ユーロ	9.37
3	英国ポンド	4.03
4	カナダ・ドル	3.26
5	スイス・フラン	2.60
6	オーストラリア・ドル	2.01
7	デンマーク・クローネ	1.01

	通貨	比率
8	スウェーデン・クローナ	0.85
9	香港ドル	0.47
10	シンガポール・ドル	0.32
11	ノルウェー・クローネ	0.16
12	イスラエル・シケル	0.11
13	ニュージーランド・ドル	0.05

⑥ 組入上位10銘柄(マザーファンド、対株式資産比)(円換算ベース)

(単位:%)

	銘柄名	国名	比率		銘柄名	国名	比率
1	MICROSOFT CORP	米国	4.87	6	ALPHABET INC-CL A	米国	1.47
2	APPLE INC	米国	4.13	7	ALPHABET INC-CL C	米国	1.29
3	NVIDIA CORP	米国	3.66	8	ELI LILLY & CO	米国	1.03
4	AMAZON.COM	米国	2.75	9	BROADCOM INC	米国	0.97
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	1.77	10	JPMORGAN CHASE & CO	米国	0.95

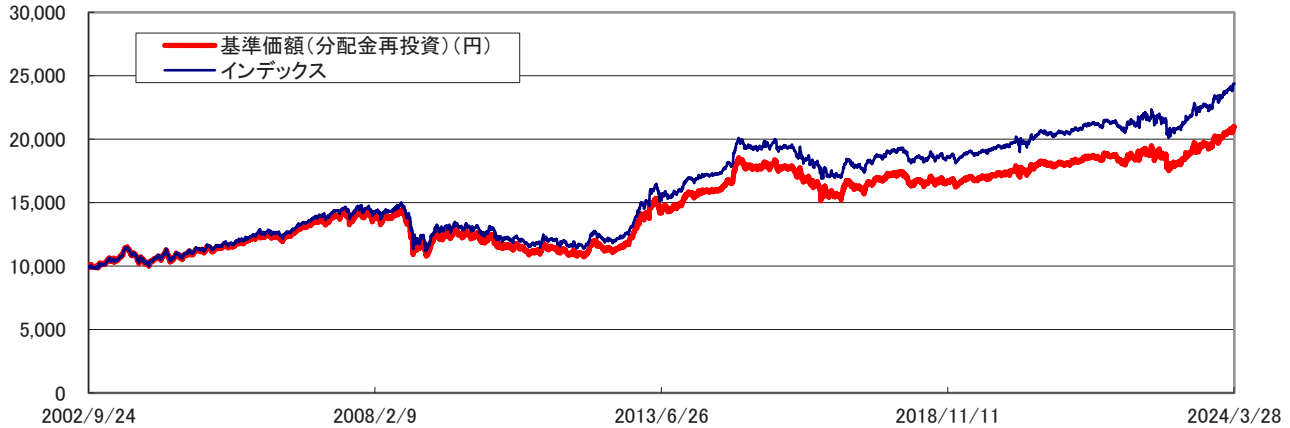
この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国債券インデックス・オープンVA1(適格機関投資家専用)

2024年3月29日現在



① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※インデックスは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。

【マザーファンド】

② 当月末基準価額

基準価額	20,876 円
既払分配金(税引前)	60 円
純資産総額	47 百万円

③ 資産構成比(対純資産、%)

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合計	100.00

資産構成比(対純資産(円換算ベース)、%)

債券	99.28	純資産総額	
債券先物取引	0.54	333,268 百万円	
短期金融資産等	0.18	銘柄数: 885	

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

④ 騰落率

(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.19	4.19	7.65	14.15	14.23	109.56
インデックス	1.20	5.04	8.29	15.80	17.31	143.63
差	-0.01	-0.84	-0.64	-1.65	-3.08	-34.08

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

⑤ 通貨別組入比率(マザーファンド、対純資産比(円換算ベース))

(単位:%)

	通貨	比率
1	米国ドル	46.67
2	ユーロ	31.55
3	オフショア人民元	9.01
4	英国ポンド	5.13
5	カナダ・ドル	2.03
6	オーストラリア・ドル	1.35
7	メキシコ・ペソ	0.88
8	ポーランド・ズロチ	0.56

	通貨	比率
9	マレーシア・リングgit	0.49
10	シンガポール・ドル	0.41
11	イスラエル・シェケル	0.33
12	デンマーク・クローネ	0.27
13	ニュージーランド・ドル	0.25
14	スウェーデン・クローナ	0.19
	日本円(短期金融資産等)	0.88
	合計	100.00

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

マイセレクション50VA1(適格機関投資家専用)

2024年3月29日現在



① 当月末基準価額

基準価額	既払分配金(税引前)	純資産総額
27,775 円	40 円	66 百万円

【マザーファンドの純資産総額】

国内株式	国内債券	外国株式	外国債券
674,868 百万円	670,100 百万円	729,793 百万円	333,268 百万円

② 当ファンドの運用状況



(単位: %)

【騰落率】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	2.17	8.42	10.59	18.69	23.60	178.46
参考指数	2.20	8.55	10.91	19.37	25.97	205.12
差	-0.03	-0.13	-0.32	-0.68	-2.36	-26.66

【資産構成比と基準価額騰落貢献度(月次)】

(単位: %)

資産	月末時価 構成比	基本 資産配分	差	基準価額 騰落貢献度
国内株式	35.5	35.0	0.5	1.55
国内債券	38.8	40.0	-1.2	-0.04
外国株式	16.0	15.0	1.0	0.62
外国債券	4.9	5.0	-0.1	0.06
その他	4.8	5.0	-0.2	-0.02
合計	100.0	100.0	-	2.17

- (注1) グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- (注2) 参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。
- (注3) 騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- (注4) 「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基準比差異効果及び資金流入要因他です。
- (注5) 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

マイセクション50VA1のマザーファンド

2024年3月29日現在



マイセクション50VA1(適格機関投資家専用)

③ 資産(マザーファンド)毎の運用状況

【国内株式】



<騰落率>

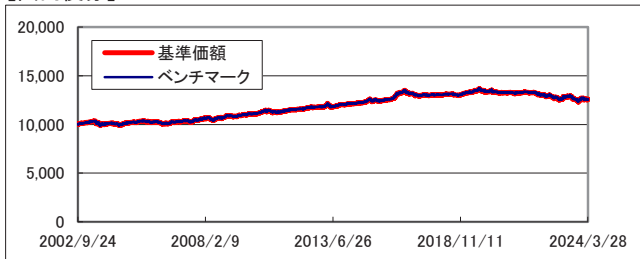
(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.43	18.13	20.53	41.34	52.50	187.17
ベンチマーク	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	182.95
差	0.00	-0.01	-0.01	0.00	-0.03	4.22

<市場の動き>

国内株式市場は上昇しました。
前半は、2月後半の流れを受け堅調に推移したものの半導体株の下落や為替市場で円高・米ドル安が進んだこと、3月後半に行われる日銀金融政策決定会合で政策変更が行われるとの見方から国内株式市場は下落に転じました。
後半は、日銀金融政策決定会合でマイナス金利の解除や長短金利操作の廃止、ETF買入れの終了等が決定されたものの、市場の予想の範囲内であったことや、金融政策における不透明感の後退から日本のデフレ脱却を期待した買戻しが進み、国内株式市場は反発しました。

【国内債券】



<騰落率>

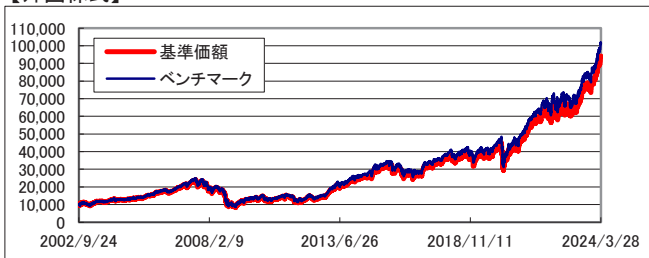
(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-0.11	-0.52	0.37	-2.18	-4.97	33.51
ベンチマーク	-0.11	-0.51	0.37	-2.20	-4.98	33.99
差	0.00	-0.01	-0.01	0.02	0.02	-0.48

<市場の動き>

国内債券市場では、10年国債利回りが0.725%に上昇(価格は下落)しました。
月前半は利回りが上昇しました。日銀が当月の金融政策決定会合で政策修正に踏み切るとの見方が強まり、15日には利回りが一時0.795%まで上昇しました。月後半は利回りが低下しました。日銀は19日にマイナス金利を解除し、今後は無担保コールレート(オーバーナイト物)を0~0.1%程度で推移するよう金融調節を行う方針を決定しました。長短金利操作の終了も決定されたものの、従来と同程度の国債買入れを継続する方針が示されたことや、日銀総裁が会見で当面は緩和的な金融環境が継続するとの見方を示したことで、国債需給の悪化や早期の追加利上げへの警戒感が和らぎました。

【外国株式】



<騰落率>

(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.17	15.87	22.91	43.73	78.94	533.05
ベンチマーク	4.24	15.87	23.10	44.19	80.28	591.56
差	-0.07	0.00	-0.19	-0.46	-1.34	-58.51

<市場の動き>

米国株式市場は上昇しました。月前半は、生成AI(人工知能)市場の成長期待を背景に半導体関連株が上昇する場面があった一方、長期金利の上昇や物価指標の上振れが重石となり一進一退となりました。月後半は上昇しました。FOMC(米連邦公開市場委員会)では年内3回の利下げ見通しが維持された一方で、実質GDP(国内総生産)成長率見通しが引き上げられました。FOMCの結果が総じてハト派の受け止められたことや、米国経済が軟着陸に向かうとの見方が強まったことが市場心理を支えました。
欧州株式市場は上昇しました。BOE(英中央銀行)やECB(欧州中央銀行)の高官から先行きの利下げ開始を示唆する発言が続き、市場心理が強気に傾きました。米国株式と比べた欧州株式の割安感に加えて、景況感指数の改善などから域内の景気底入れが意識されたことも株価を支えました。

【外国債券】



<騰落率>

(単位:%)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	1.25	4.38	8.03	14.96	16.65	253.89
ベンチマーク	1.20	5.04	8.29	15.80	17.31	260.69
差	0.04	-0.66	-0.26	-0.85	-0.66	-6.80

<市場の動き>

米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。月前半、米景気指標の悪化などを受けて利回り低下が先行しましたが、前月に続き物価指標が上振れたことで利回りは上昇に転じました。月後半は利回りが低下しました。堅調な米経済指標が続く一方、FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内の利下げ見通しが保持されたほか、FRB(米連邦準備理事会)議長が先行きの物価安定に前向きな見方を示したことで、年央には利下げが開始されるとの見方が維持され、利回りは低下しました。
ドイツ10年国債利回りは低下しました。概ね米国の長期金利に連動して上下する展開となりました。ECB(欧州中央銀行)の利下げ期待が後退したものの、域内景気の低迷やスイス国立銀行の利下げなどを背景に、利回りは低下しました。

<各資産のベンチマーク(グラフはマイセクション50VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。)>

国内株式 TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
国内債券 NOMURA-BPI 総合

外国株式 MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
外国債券 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：バランス(A)

マイセレクション50VA1のマザーファンド

ブリリアントエージ_{STB}



<参考情報>

マザーファンドの状況 2024年3月29日

【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス マザーファンド

◆株式組入上位10銘柄(対株式資産比率)

銘柄数：2,071

順位	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.32%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.39%
3	ソニーグループ	電気機器	2.35%
4	東京エレクトロン	電気機器	2.14%
5	三菱商事	卸売業	1.81%
6	キーエンス	電気機器	1.78%
7	日立製作所	電気機器	1.72%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.59%
9	信越化学工業	化学	1.51%
10	三井物産	卸売業	1.44%

◆株式組入上位10業種(対純資産比率)

順位	業種	比率
1	電気機器	17.09%
2	輸送用機器	9.33%
3	卸売業	7.28%
4	銀行業	7.27%
5	情報・通信業	7.12%
6	化学	5.61%
7	機械	5.52%
8	サービス業	4.35%
9	医薬品	4.19%
10	小売業	4.15%

【外国株式】

マザーファンド名：外国株式インデックス マザーファンド

◆組入上位10銘柄(対株式資産比率)(円換算ベース)

銘柄数：1,248

順位	銘柄	国名	比率
1	MICROSOFT CORP	米国	4.87%
2	APPLE INC	米国	4.13%
3	NVIDIA CORP	米国	3.66%
4	AMAZON.COM	米国	2.75%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	1.77%
6	ALPHABET INC-CL A	米国	1.47%
7	ALPHABET INC-CL C	米国	1.29%
8	ELI LILLY & CO	米国	1.03%
9	BROADCOM INC	米国	0.97%
10	JPMORGAN CHASE & CO	米国	0.95%

●通貨別組入比率(対株式資産比率)(円換算ベース)

	通貨名	ファンド
1	米国ドル	75.76%
2	ユーロ	9.37%
3	英国ポンド	4.03%
4	カナダ・ドル	3.26%
5	スイス・フラン	2.60%
6	オーストラリア・ドル	2.01%
7	デンマーク・クローネ	1.01%
8	スウェーデン・クローナ	0.85%
9	香港ドル	0.47%
10	シンガポール・ドル	0.32%
11	ノルウェー・クローネ	0.16%
12	イスラエル・シケル	0.11%
13	ニュージーランド・ドル	0.05%
14		

銘柄数にはREITを含みます。

【国内債券】

マザーファンド名：国内債券インデックス マザーファンド

◆公社債組入上位10銘柄(対純資産比率)

銘柄数：1,019

順位	銘柄名	クーポン(%)	比率	償還年月日
1	第144回利付国債(5年)	0.10%	0.98%	2025/6/20
2	第350回利付国債(10年)	0.10%	0.97%	2028/3/20
3	第370回利付国債(10年)	0.50%	0.91%	2033/3/20
4	第153回利付国債(5年)	0.01%	0.89%	2027/6/20
5	第148回利付国債(5年)	0.01%	0.89%	2026/6/20
6	第339回利付国債(10年)	0.40%	0.88%	2025/6/20
7	第344回利付国債(10年)	0.10%	0.88%	2026/9/20
8	第373回利付国債(10年)	0.60%	0.86%	2033/12/20
9	第346回利付国債(10年)	0.10%	0.86%	2027/3/20
10	第149回利付国債(5年)	0.01%	0.84%	2026/9/20

◆公社債種別構成比(対純資産比率)

	種別	比率
1	国債	84.78%
2	地方債	5.98%
3	事業債	6.06%
4	政府保証債	1.30%
5	MBS	1.24%
6	金融債	0.31%
7	円建外債	0.28%
8	ABS	0.01%
9	その他債券	0.00%
10	短期金融資産等	0.03%
	合計	100.00%

【外国債券】

マザーファンド名：外国債券インデックス マザーファンド

●通貨別組入比率(対純資産比率)(円換算ベース)

銘柄数：885

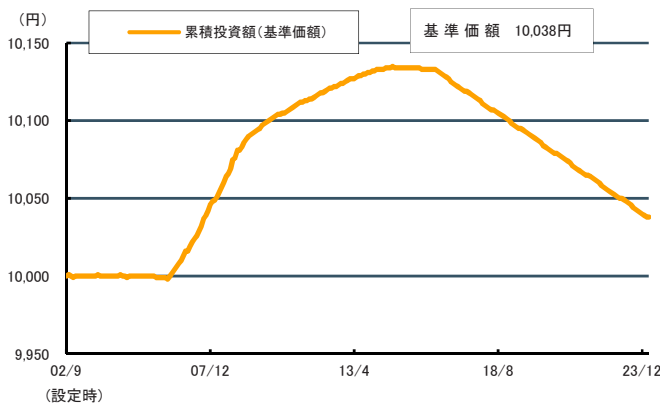
	通貨名	比率
1	米国ドル	46.67%
2	ユーロ	31.55%
3	中国元	9.01%
4	英国ポンド	5.13%
5	カナダ・ドル	2.03%
6	オーストラリア・ドル	1.35%
7	メキシコ・ペソ	0.88%
8	ポーランド・ズロチ	0.56%
9	マレーシア・リンギット	0.49%
10	シンガポール・ドル	0.41%
11	イスラエル・シケル	0.33%
12	デンマーク・クローネ	0.27%
13	ニュージーランド・ドル	0.25%
14	スウェーデン・クローナ	0.19%
15	ノルウェー・クローネ	0.16%
16	日本・円(キャッシュ等含む)	0.72%
	合計	100.00%

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

商品概要	
形態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2024年3月29日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
 ※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
 ※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	65.2 億円	(2024年3月29日現在)
-------	---------	----------------

累積リターン (2024年3月29日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.00%	-0.02%	-0.05%	-0.12%	-0.36%	0.38%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第18期(2019.12.02)	0円
第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2024年2月29日現在)

	銘柄	種類	格付	比率
1	-	-	-	-
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

(組入銘柄数：0) 上位10銘柄合計 0.0% (対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2024年2月29日現在)

資産別組入状況

債券	-
CP	-
CD	-
現金・その他	100.0%

組入資産格付内訳

長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他	100.0%	

平均残存日数	-
平均残存年数	-

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。「(プラス/マイナス)」の符号は省略しています。なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。



この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-125-104

<https://www.ms-primary.com>